

令和元年度都市科学部運営諮問会議
令和元年度にかかる評価結果

【1】都市科学部における学生の受入れ

1. 適切に学生受入が実施され、入学定員と実入学者数との関係が適切でしょうか？

| | |
|---------------|-------------------------------------|
| 平均評価： 3. 5 | ①まったく適切でない ②不十分である ③適切である ④非常に適切である |
|---------------|-------------------------------------|

コメント：

- 地方出身者への積極的なアプローチなど、多様な人材の確保にも引き続き努めていただきたい。
- 入試改革の影響がみられるが、概ね安定し受験者を確保できている。
- 高い入試倍率が維持されている。実入学者数も適切だと見受けられる。

【2】都市科学部における教育

1. 都市科学部の特色が反映された教育が行われているでしょうか？

(1) ①グローバルとローカルの接点としての大都市、②リスク共生、③イノベーション) を重視した教育が行われているでしょうか。

| | |
|-----------------|--|
| 平均評価： 3. 7 5 | ① まったく行われていない ②不十分である ③行われている ④非常によく行われている |
|-----------------|--|

コメント：

- 各特色を具体化した授業に取り組んでいると考えました。
- 都市科学 A,B,C が 1 年生必修なのは大変良い。
- 講義だけでなく、シンポジウムなども積極的に開催している。
- 都市科学、地域課題学習などの特色ある科目が積極的に展開されている。

(2) 分野横断型の教育が積極的に推進されているでしょうか。

| | |
|---------------|---|
| 平均評価： 3. 5 | ① まったく推進されていない ②不十分である ③推進されている ④非常によく推進されている |
|---------------|---|

コメント：

- 都市科学 A,B,C のように分野横断型にて推進されている。学生アンケート等、受講者側の反応をみながら改良が必要なところを検討されることも必要かと考えます。
- 分野横断的な基幹知科目やイベントなどが充実している。
- 学生のアンケートより、充実してきていることが十分に窺える。
- 専門学科を横断した科目や活動が推進されている。さらなる進展が期待される。

(3) グローバル人材の育成に積極的に取り組んでいるでしょうか。

| | |
|---------------|---|
| 平均評価： 3. 5 | ① まったく取り組んでいない ②不十分である ③取り組んでいる ④非常によく取り組んでいる |
|---------------|---|

コメント：

- 一生懸命取り組んでいることは伝わってきますが、積極的とまでは評価できないように思います。
- 海外渡航プログラム参加者は都市社会共生学科にやや偏っているので、他学科の学生にも魅力ある内容に改善できたらよい。また、海外に行くことだけがグローバル人材育成の方法ではないので、例えば、県内で増え続ける外国籍県民との共生などを都市科学のテーマとした教育プログラムができたらよいと思う。
- 海外研修参加人数の増加、留学生の受入れなどの充実が見られる。
- 学生が実践の場で話し合いながら取り組む活動が多く、グローバル人材の育成がなされている。

(4) かながわ・ヨコハマをフィールドとした実践的な教育に積極的に取り組んでいるでしょうか。

平均評価：

3.75

- ① まったく取り組んでいない ②不十分である ③取り組んでいる ④非常によく取り組んでいる

コメント：

- 地域課題実習の受講状況から、学生の主体性が感じられる。
- 多様な実践的教育が実施されており魅力的である。
- 「もっと横浜」プロジェクトを中心に、地域課題実習の取組みが充実してきている。
- 地域課題学習にて十分に取組まれていると見受けられる。さらなる進展が期待される。

【3】その他

1. 教育課程に対応した設備・施設等が十分整備され適切でしょうか？

平均評価：

3

- ① まったく適切でない ②不十分である ③適切である ④非常に適切である

コメント：

- 不十分とは言えませんが、学生アンケートで、教室の大きさについて多数記載がありましたので、ハード面の対応が必要と感じました。
- 都市科学部講義棟の改善が行われた。
- 講義棟も整備され、ますます充実されるとのこと。今後の整備も期待される。

2. 財務基盤は適切でしょうか、また、管理運営体制（事務組織も含む）が適切に整備されているでしょうか？

平均評価：

2.75

- ① まったく適切でない ②不十分である ③適切である ④非常に適切である

コメント：

- 努力されていないという意味ではなく、大学本部や国に更なる配当をお願いしたい。
- 財源確保に努められており、管理運営体制も堅実なものを見受けられる。

3. 外部評価の体制が整備され、機能しているでしょうか？

平均評価：

3.5

- ① まったく機能していない ②不十分である ③機能している ④非常によく機能している

コメント：

○真摯に受入れ、しっかり対応をされている。

○体制も整備されており、外部評価に向けてのデータ蓄積などが進められている。

全体を通した、ご意見・ご提言

○都市科学 A,B,C の授業評価アンケート調査の仕方や分析方法については、さらに工夫を加えることで、何を改善すべきなのかという点や具体的な改善方法がより見つけやすくなると思う。例えば、調査結果を4学科の学生ごとに分けて比較分析することや、「あまりそう思わない」「まったくそう思わない」と回答した人には理由を書いてもらうなどの工夫が考えられる。

○いよいよ完成年度を迎え、更なる充実が期待できます。卒業生の進路先などが落ち着いてくれば、知名度も上がると考えています。HP もスマートで好感が持てます。

新学習指導要領にあるように文系理系にとらわれずに、オールランドな力が求められています。まさにその先端を行っている貴学部です。益々のご発展をお祈りしております。

○数々の積極的な取り組みに感嘆しつつも、さらなる進展を期待しております。

また、次年度で4年生までの学生がそろうとのことで、ぜひ4年生の皆さんの進路の意識や動向などについて、実情を把握していただければと思います。